

# 感染症トランスレーショナルリサーチにおける 新展開

講師：舘田 一博 教授  
東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座  
Prof. Kazuhiro Tateda  
Department of Microbiology and Infectious Diseases,  
Faculty of Medicine, Toho University



## 第2回 ERATO 学術セミナー ERATO Nomura project : Science Seminar

今日、感染症分野において我々はいくつかの新しい問題に直面している。

耐性菌問題はその代表であり、ほとんど全ての菌種で、全ての抗菌薬に対して耐性菌が出現している。一方で、新しい抗菌薬の開発は世界的なレベルで停滞傾向がみられており、近年、国際協調の中で感染症治療薬の開発を促進する動きが加速している。

劇症型感染症、慢性・難治性感染症に対する治療法は限られており、今日においても多くの患者が犠牲になっているという現実が存在する。レジオネラ感染症は今日においても死亡率の高い感染症の1つであり、近年、その増加が報告されている。また、非結核性抗酸菌症は世界的に注目される慢性・難治性感染症であり、新しい治療法が開発が期待されている。依然としてバイオフィーム感染症は慢性化・難治化の重要な原因であり、特に最近では、*in vivo* biofilm の概念のもとに凝固因子など生体側要因の存在下におけるバイオフィーム研究が注目されている。

本発表では、劇症型、慢性・難治性感染症に対するトランスレーショナルリサーチについて私どもの教室の取り組みの一端を紹介させていただき、ご参加の先生方とディスカッションできればと考えている。

日時：2016年9月23日(金)  
時間：16:00～18:00  
会場：総合研究棟 A110 室  
参加費無料・事前申し込み不要

ERATO

お問い合わせ：betsuyaku.shige.ge@u.tsukuba.ac.jp  
(研究推進主任：別役重之)

主催：JST ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト  
<http://www.jst.go.jp/erato/nomura/>

